



さとやま

12月に見られるいきもの



今年の11月は晴れの日が多く、各地で水不足が問題になるほどです。気温は暖かいながらも少しずつ低下し、下旬には強い寒気もやってきました。写真は、昨年12月のセンター付近の様子です。木々が色付いています。里の紅葉は12月が見頃です。またその後の落葉で、色付いた草木の実がよく目立つようになります。

お正月飾りでよく使われるセンリョウ、マンリョウ、センリョウは葉の上に、マンリョウは下に実がつくことで見分けられます。別名「十両」とも呼ばれる小低木のヤブコウジ、つる植物の変った形のサネカズラのなどの赤い木の実が、里のあちこちで見つかります。

万灯山エリアではそれに加えて、足元に赤いフユイチゴやキチジョウソウ、また青いジャノヒゲなどの草の実も見つかります。フユイチゴは食べられます。紫色のヤブムラサキは、今年は少し実りが少ないようです。

寒さで一層鮮やかな色になる実を探して、里を散策してみませんか。



センリョウ



マンリョウ



ヤブコウジ



サネカズラ



フユイチゴ



キチジョウソウ



ジャノヒゲ



ヤブムラサキ

里の生き物紹介

綿毛いろいろ

前回は、獣の毛などにくっついて種子を遠くへ広げる「くっつきむし」をご紹介しましたが、種子についた綿毛で、風を使って広げるものもこの時期たくさん見られます。そんな綿毛のなかまをご紹介します。

—キク科のなかま—

綿毛と言えば、まず思い浮かべるのは**タンポポ**です。タンポポはキク科に分類される植物です。キク科の植物の花は小さな花が集まって一つの花のように見える集合花で、花が終わるとじきに、小さな花の1つに1つの種子ができ、多くの種類でがくが変化した綿毛がつきます。

アキノノゲシ

ノゲシの仲間は**ノゲシ**、**オニノゲシ**など春に見られるものが多いですが、秋に咲く花色の淡いものもあります。

花は午前中に開き、夕方近くになると閉じてしまいます。



ノコンギク



秋の白い野菊の代表です。よく間違えられる**ヨメナ**には綿毛がありません。このように、よく似たキク科の花でも綿毛のないものもあります。

コウヤボウキ

万灯山エリアで多く見られます。リボンのような花弁が花火のように広がる花ですが、綿毛は他のものと似ています。



ヒヨドリバナ



旅をする蝶、アサギマダラが好む花です。

花の集まり方や、形が違うため、種子のつき方も違い、モフモフした見た目になります。

—キク科以外のなかま—

綿毛は、がくが変化したものではなく、起源はそれぞれですが機能は同じ、生物の進化は面白いですね。
テイカカズラ（キョウチクトウ科）



5月頃、かわいいプロペラ型の花が咲きますが、その後二股に分かれた果実ができ、この季節に熟すと割れて、ぎっしり詰まった長い綿毛付きの種子が多数出てきます。大きいためキク科の種子ほど遠くへは飛ばず、付近の枝などに引っかかっているのをみつけることができます。

ガマ（ガマ科）

里ではガマの仲間はヒメガマと2種類あります。どちらも6月頃の花の時期には雄花と雌花の集まりがつながっていますが、雌花の集まりだけが残って穂になります。この時期に種子が熟すと、ほぐれてきてたくさんの綿毛が「爆発」するように固まって出てきます。「因幡の白兔」の神話はこんな様子から生まれたのでしょうか。



ガガイモ（ガガイモ科）



域外ですが、一昨年冬に、小草池の耐震工事のためのう回路でつけたものです。花は8月頃咲き、この時期に大きな紡錘形の果実が割れると、多数の綿毛のついた種子が出てきます。

ところで、里ではこの植物を見たことがありません。種子が大きいのでそれほど遠くへは飛ばないからでしょうか、それとも環境が合わないのでしょうか。

この時期ならではの綿毛たちを探してみてください。

11月の行事紹介



青空のもと、講座「竹を切ってみよう」をにしお環境市民塾の方々に教わりながら、11月21日(日)に開催しました。

小さい子どもたちは、ノコギリを直角に入れて竹を切ることが難しく、真剣な顔で竹切りをしました。

間引いた竹は、いらぬ枝を落としてから適当な長さに切って運び出しました。この先も里山の雑木林が竹にかわることはないよう自然を大切にすることを学びました。

12月の行事予定

5日(日)	自然の素材で“クリスマスリース”を作ろう	20名	AM9:30~11:30	磯貝はるみ
19日(日)	正月飾りを作ろう	20名	AM9:30~11:30	当園職員

※12月の講座は当日材料費(5日:200円・19日:300円)を徴収します。なお、お申込みは、ご家族2人分までの材料とし、お子さま等は一緒に作るようご協力ください。

1月の行事予定

16日(日)	お花炭を焼いてみよう	20名	AM9:30~11:30	山口 信夫
30日(日)	自然に触れて俳キング	20名	AM9:30~11:30	服部くらら

※16日のお花炭を焼く金属製フタ付の缶(25cm正方形・深さ15cm程度)のある方は、ご持参ください。そのまま持って帰られます。

- ◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。
- ◆参加申込者は傷害保険に加入のため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◆天候や少数(6名以下/1講座)、コロナ禍などにより「講座の中止・延期」、または「受講内容の変更」する場合があります。
- ◆原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆詳細な講座の内容などは、直接ネイチャーセンターにご確認ください

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課